2019年度 レセプト・健診データ分析研究会 活動計画 2019年6月26日



40健保 (継続32 新規8) 50名						
大和証券G	コニカミノルタ	SGホールディングス G				
小松製作所	三菱電機	三越伊勢丹				
全日本空輸	日本IBM	オリンパス				
日立	三菱	GSK				
ニコン	ニチレイ	日本旅行				
住友不動産販売	第一三共G	ヤマトG				
オートバックス	ボッシュ	パナソニック				
エーザイ	富士フイルムG	ソニー				
日産自動車	日本航空	協和発酵キリン				
プレス工業	丸井	ジャパンディスプレイ				
アクサ生命	тото	鷺宮				
キリンビール	太陽生命	日本マクドナルド				
博報堂	阪急阪神	栗田				
味の素						

1

担当理事、運営委員、アドバイザー

担当理事		
担当理事	(日立健康保険組合)	
同	(三菱健康保険組合)	
運営委員(9人))	
リーダー	(大和証券グループ健康保険組合)	(新)
運営委員	(コニカミノルタ健康保険組合)	
同	(三菱電機健康保険組合)	
同	(三越伊勢丹健康保険組合)	
同	(SGホールディングス健康保険組合)	
同	(小松製作所健康保険組合)	
同	(全日本空輸健康保険組合)	(新)
同	(日本アイ・ビー・エム健康保険組合)	(新)
同	(オリンパス健康保険組合)	(新)
顧問・アドバイザー	・オブザーバー	
顧問 : ((東京大学)古井先生	
アドバイザー:((東京大学)井出先生、平松先生、柿沼先生	

オブザーバー: 後藤さん (東京大学大学院生)



平成30年度参加者アンケート結果



両テーマともに、やや難易度が高く、何とか理解出来たが半数で、未消化だったと回答した人も、 11%、19%おり、今後は分析にあまり偏ることなく、自健保に持ち帰れる工夫や配慮が必要

2019年度 活動方針



保健事業の評価・効果検証に役立つ健診・レセプトデータの分析手法を学び、知識とスキルのレベルアップを図ります。

活動の柱

①全体テーマ(前半実施)
 ②グループテーマ(後半実施)
 ③東大テーマ(昨年検討したものは一旦中止で、仕切り直し)

具体的には

- 蓄積した分析手法を活用し、自健保評価できるスキル向上を目指す
- ●各自のやりたいことを視野に入れ、複数回の異なるチームによるディス カッションを取り入れ、後半のGWにつなげていく
- ●アドバイザーレクチャー及び取組事例共有により健診・レセプトデータ 分析に関する知識や技術の向上、保健事業のDOにつなげる

2019年度活動計画概要

	'19/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'20/1月	2月	3月
上位イベント			計画発表26					全国大会				報告会24
定例会	26日	31日	28日	23日	23日	24日	合宿 17~18日	29日	20日	21日	休会	13日
定例会 主要内容	①体制・組織・テーマの提案・決定	④ANA整備工場見学③TDメンバー決定 ①全体テーマ 過去資料研究	④GWの検討 ③全体テーマ 今年度データ抽出説明 ①全体テーマ 過去資料研究	④GWの検討 ③全体テーマ 今年度集計・提供方法 ① 1 全体テーマ 過去資料研究	②GW活動	③GW活動 ②新指標の討議 ①全体テーマ 集計結果の公開	②GW活動 の特徴報告と課題などの討議 ①全体テーマ 抽出した自健保	①GW活動	①GW活動	①GWまとめ方針討議	_	②来年度の活動計画 ①GW報告会
全体テーマ データ			データ抽出	データ抽出 ~集計	初旬 : 集計、提 出							
古井先生 井出先生 レクチャー (※)	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
基礎知識研修	健康分布図 同年齢階層 別グラフ			データ抽出・ 集計の基礎								
事例報告			~	事例の共	共有報告会	(計画予定)				>		
情報交換会		キックオフ			暑気払い		合宿		忘年会			締め会

※古井先生・井出先生によるレクチャーは、適宜実施。先生不在の際は健保の事例紹介とする

運営体制



2019年度 全体テーマ(前半実施)の概要

 ①過去2年間に作成した健康分布図を 使って深堀、分析内容の検討を行います。
 2017年度:年齢階層別推移を追加
 2018年度:年齢階層別リスクを追加

②チーム・ディスカッションを行います

役職別、担当別のチームに分かれてディスカッショ ンを実施、これまでの分析内容を共有します。

また、活用法、今後の展開のヒントを見つけます。

③自健保のデータ抽出を行い、健康分布 図を作成、分析します。 ※合宿などで、自健保特徴の抽出演習を計画



5年後の変化=「5歳加齢	北較 」	= A1 = A	2 A3	■B1	B 2	B3
[H23] 40~44歳		32.8	20.0	6.2	10.9 18.5	11.6
[H28] 45~49意	24.	3	23.0	8.1 8.6	21.2	14.8
[H23] 45~49歳	26	.5	20.6	8.3 9.6	20.0	14.9
[H28] 50~54歳	19,4	23.	6 10	0.6 7.3	21.8	17.4
[H23] 50~54歳	21.3	21	.3 11	.1 8.4	20.7	17.3
[H28] 55~59前	15.3	24.1	13.0	6.3	22.2	19.2
同年代 [H23] 55~59歳	15.7	22.0	14.3	6.8	21.4	19.9
の変化 [H28] 60~ #	10.2	24.4	15.9	4.7	23.7	21.1
=「同年代比較」	0% 10%	20% 30%	40%	50% 60%	70% 809	6 90% 100%

自力でデータ抽出し、健康分布図が 作れます!また他健保との横比較で 自健保の立ち位置がわかります。

2019年度 全体テーマ①経年変化

■健康分布図を使って5年間の経年変化をチェック 【目的】

基本的な健康分布図を使って、対象者の5年間のメタボリスクの変化を分析 他健保との比較により自健保の状況を把握します。



今年度はH25年度およびH30年度の健診データを用いて健康分布図を作成予定

2019年度 全体テーマ②年齢階層別推移分析

■5歳刻みの年齢階層別健康分布図による経年変化をチェック 【目的】

5歳刻みに分けて、年代別に5年経過による変化を分析します 5年前と比較して、同年代のリスク分布の変化を分析します



今年度はH25年度およびH30年度の健診データを用いて健康分布図を作成予定

2019年度 全体テーマ③年齢階層別リスク分析

■5歳刻みの年齢階層別リスクの経年変化をチェック 【目的】

血糖・脂質・血圧のリスク別に、年齢別のリスク者の変化を分析します。



今年度はH25年度およびH30年度の健診データを用いて年齢階層別リスクを分析予定

2019年度 グループワークの概要

後半に実施します。

~テーマ~
前半に新規加入者を含めてGWメンバー決めをし、
そのグループごとに話し合いで決めていく。
グループ毎に難易度が高くなりすぎないようにする。
テーマに沿って、出てきた数字をどうとらえ、何を訴えたいのか、どう
周囲を動かしていきたいのか十分に検討する

~GWの形式~ ①構成は、10人から15人程度を目安 ②本年度内に一旦完結するテーマが望ましい ③それぞれの職種や希望に応じて、合意しながら進める。 ④ディスカッションとそのまとめの重要性を学んでいく